

委員▼今のまま2つでいいと思う。
委員▼2つは必要ない。大階段は一つでいい。

委員▼そんな変更をしてスケジュールが間に合うのか。
理事者▼設計の変更には1ヶ月程度の猶予は用意できる。構造に関わる部分でなければ、期間内に変更してスケジュール通り計画を進められる。

委員長▼そのような変更に関する議論は特別委員会にて行うことにする。

林業振興諸経費

2,707万円

令和6年度から新規事業として「高性能林業機械レンタル支援事業負担金」と「林業機械レンタル等事業補助金」、「自伐型林業者育成支援事業補助金」が設けられた。従来の林業に加え、自伐型林業の支援事業も行えるようになった。中でも「自伐型林業者育成支援事業補助金」は全国的にも見られない包括的な支援がされており、一般的な事務手続きの煩雑さが緩和されている点で評価できるが、作業する山林の確保や補助対象期間が終了する3年以降の対応が課題となる。

農業振興諸経費

9,727万円

新規事業として「青果市場建設事業補助金」を設け、道の駅隣接地に整備する市場の建設費用の一部を助成する。新しく建つ青果市場には、青果市場としての機能だけでなく飲食物販の機能も設けられる予定である。

新規・旧ホテル勝山解体事業

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部が改正されたことで、特定空き家の解体工事を代行できるようになったことを背景に、放置されていた旧ホテル勝山の解体工事を行うこととなった。解体後は更地にして競売にかけて、売れなかった場合は分割することも検討していく。

◆市制70周年を市民一体と なつて祝い楽しむ

新規・市制70周年記念事業費

予算額 824万円

市制施行70周年を迎えPRキャンペーンを展開するとともに、市民が参加する様々な活動やイベントを実施していきたい。市民が一体となり、祝い楽しむことで勝山市への愛着を深めていきたいと説

明があった。

委員▼夏の時期に開催されるイベントは暑さ対策など大丈夫なのか。

理事者▼できる限りの対策を整えてイベントを実施、支援していきたい。1年を通して70周年の勝山市を市民とともに盛り上げていくようしっかりと準備していく。

◆有害鳥獣による農作物被害への対策

鳥獣害対策事業費

予算額 715万3,000円

農林水産物に影響を与えている野生動物の捕獲。猟友会に捕獲、止め刺し、運搬の事業委託。二ホンジカのメス及び幼獣を捕獲した場合同じく、県からの補助金について理事者から説明があった。

委員▼今年もフマの出没など予想されるが、果樹の伐採以外にどんな対策があるのか。目の前に現れた場合の対処など市民への周知や訓練はこれからどうしていくのか。

理事者▼果樹の伐採に関しては補助金などもあるので活用していただきたい。クマ対策に関しては市民への周知や訓練を強化していく。農地への侵入などもワイヤーメッシュ柵整備に対する助成など、より一層鳥獣害に対しての課題を解決していきたい。

◆観光素材の魅力アップにつなげる取り組みについて

観光PR推進事業費

予算額 1,094万5,000円

魅力ある観光情報を発信する等の市外、県外へのPRに取り組むことによる観光客の誘客促進を図る。

(主な内容)

1. 鯉のぼり事業（勝山の春の風物詩「弁天河原の鯉のぼり」を令和6年度も開催）
2. TGRラリーチャレンジ開催支援負担金（TOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジを開催）
3. 御開帳記念賑わい創出事業☆新規平泉寺白山神社三十三式年祭（御開帳）を記念して、市民参加による賑わいを創出するとともに、平泉寺の魅力在市内外に広く発信して誘客を図る。

